

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために注意すべきこと

県立上尾高等学校長 林 昭雄

1 感染ルート

(1) 「飛沫感染」

感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出され、別の人があるウイルスを口や鼻から吸い込み感染する。様々なものに付着した「飛沫」に手が触れ、その手で顔を触ることで、呼吸とともに顔についた「飛沫」が吸い込まれる。

(2) 「接触感染」

「飛沫」がついた手で目・鼻・口などの粘膜に触る。

(3) くしゃみや咳、大きな声での会話、荒い息づかいにより「マイクロ飛沫」が発生する。密閉空間で漂うウイルスを吸い込むことがある。

*実験的に作った密閉空間でウイルスが3時間生存したとアメリカの学者が発表

2 状況

(1) 県内では毎日数名の陽性確認者がいる。

(2) 終息した状態ではない。

(3) 感染ルートが明らかでない場合や、家庭内感染例も出ている。

(4) 東京や近県でも陽性確認者は減じていない。

3 生徒の皆さんが注意し行動すべきこと

(1) 毎日検温する。発熱や咳等の身体症状がある場合は、登校しない。

(2) 家族にも発熱、咳などの身体症状がある場合は登校しない。

(3) 咳エチケットや手洗いなどの基本的な感染症対策を徹底する。咳が出る生徒のマスクは必須。手洗いと手指消毒は大切。

(4) バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠などで抵抗力を高めていく。

(5) 換気の悪い環境は、率先して換気する。

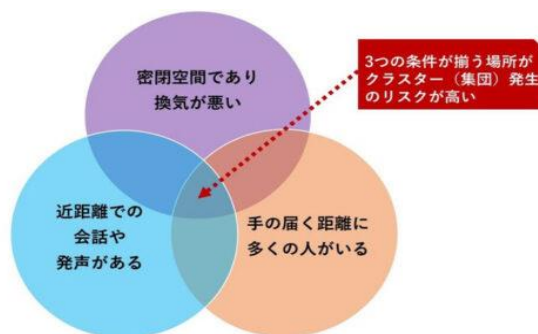
(6) 右のような環境下にある場所に行かない。

部室も大人数で更衣しない。

更衣後はすぐ退室する。

(7) 大人数が集まるイベントには行かない。屋外で行われている場合でも、トイレなどは換気の悪い密閉空間である。イベントの前後では大人数が集まる機会がある。

(8) 不特定多数の人がいるところへ行かない。



* 3 (6) について、担任から「3つの要素が重ならない場所であれば、感染のリスクがないという意味ではありません。どれか一つでも該当すれば感染リスクがあり、リスク要素が一つ増えれば、それだけリスクが増すという意味ですので注意してください」と追加説明しました。